

## 夏の虫調べ

### 都市と農村の夏の虫

調べた夏の虫たちですが、たとえばアゲハチョウの仲間は、蜜を吸うための草木が生育する明るい林縁を好み、オサムシの仲間は、餌となるミミズや巻き貝が生息する湿り気があって落ち葉がふかふかした地面を好むといったように、7つの仲間それぞれが生息するために必要とする細々した自然環境の要素があります。

ですから調べた林で、多くの仲間（グループ）の虫が見つければ、その林はそれだけ変化に富んだ環境条件を持ち、多くの生きものが暮らせる豊かな林だといえます。もし見つからなかった虫の仲間があれば、あなたの林にその仲間に必要な要素を加えていくことで、そのうちに虫たちがすみつき、林の豊かさが高まることが期待できます。

このように、夏の虫調べは、虫を通して林の現状を把握し、足りない要素を知ることで身近な林の豊かさを高める手がかりをつかむことを目的としたものでした。しかし、いつも動き回っていることの多い虫たちを撮影することが予想以上に難しかったために、報告の大半は0～2グループしか見つからなかったという結果になりました。虫をビニール袋に入れて撮影するような方法を紹介すべきでしたので、今後、同じような調査のてびきを作る際には今回の経験をいかしたいと考えています。

さて、みなさんが苦労して撮影された写真は、一つひとつ確認（同定）を行い、分類された虫がその仲間として適切であったかの判断を行いました。その結果を集計し、大きな環境別にまとめたのが下の図です。市街地・住宅地の林よりも農村の林の方がグループ数が多い傾向がはっきりしていました。農村にある林は、林自体の面積も広く、虫たちにとっての生息環境が多様であることがうかがえます。



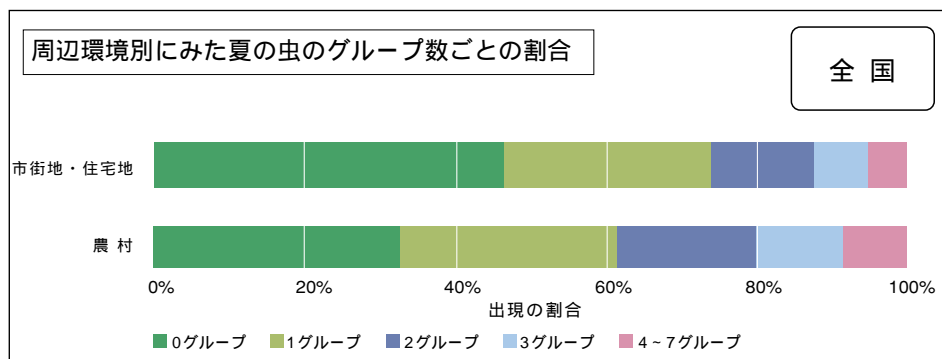
蜜を吸うカラスアゲハ  
*Papilio bianor*

撮影：三重県 清水実さん



ミミズを捕まえたスルガオサムシ  
*Carabus kimurai*

撮影：静岡県 村松伸治さん



### 夏の虫の仲間あれこれ

#### アゲハチョウの仲間



アオスジアゲハ  
*Graphium sarpedon*

撮影：神奈川県 青柳幸夫さん

#### 赤いトンボの仲間



ジシメトンボ  
*Sympetrum infuscatum*

撮影：東京都 澤田裕二さん

#### カマキリの仲間



ハラヒロカマキリ  
*Hierodula patellifera*

撮影：香川県 池田良彦さん

#### クワガタムシの仲間



コクワガタ  
*Dorcus rectus*

撮影：東京都 佐藤徹さん

#### 大きなカミキリムシの仲間



ゴマダラカミキリ  
*Anoplophora malasiaca*

撮影：神奈川県 小堀靖子さん

#### センチコガネの仲間



センチコガネ  
*Geotrupes laevisirius*

撮影：奈良県 池田昌義さん

#### オサムシの仲間



アオオサムシ  
*Carabus insulicola*

撮影：千葉県 富樫邦彦さん